

これまでのミュージアム講座

※講師はいずれも当館学芸員

第30回 (2025年度)

10月 2日 (木)	南北朝内乱にかかる神戸の古城	三好 俊
11月 6日 (木)	明治40年代・神戸市近郊における工場立地と住民運動 ー東須磨・石油精製工場設置問題を事例としてー	戸部 愛菜
12月 4日 (木)	江戸時代における骸骨の表象について	山田 麻里亜
1月 8日 (木)	終戦80年・震災30年～神戸の洋画家たちと戦争・震災と美術をめぐる物語～	廣田 生馬
3月 5日 (木)	銅鐸とムラー誰がなぜ、銅鐸を埋めたのかー	萱原 朋奈

第29回 (2024年度)

10月 3日 (木)	聖フランシスコ・ザビエル像とその時代	塚原 晃
11月 7日 (木)	池長美術館再考ーその活動と意義	中山 創太
12月 5日 (木)	江戸図をよみとく	鈴木 更紗
1月 9日 (木)	神戸市立博物館所蔵の手彩色写真	水嶋 彩乃
3月 6日 (木)	江戸時代後期における遊廓の人口構造ー長崎寄合町を事例としてー	小野田 一幸

第28回 (2023年度)

10月 19日 (木)	仏のおもごし、神の徴～神戸ノ聖域ヲ逍遙ス～	川野 憲一
11月 16日 (木)	神戸の戦の記憶をたどる	三好 俊
12月 21日 (木)	古地図発見～伊能図を中心に～	永山 未沙希
1月 18日 (木)	近代煉瓦史概説～関西を中心として～	田島 靖大
2月 15日 (木)	桜ヶ丘銅鐸・銅戈群発見60年～国宝をあずかる館として～	小林 さやか

第27回 (2022年度)

10月 20日 (木)	南蛮美術事始 ～新村出・永見徳太郎・池長孟～	塚原 晃
11月 17日 (木)	川崎正蔵の円山応挙蒐集	山田 麻里亜
12月 15日 (木)	神戸の城郭探求～最新調査事例から～	萱原 朋奈

第26回 (2021年度)

10月 21日 (木)	戦後の昭和と小磯良平ー小磯が描いた女性像に着目して	高橋 佳苗
11月 18日 (木)	近世の刊行道中図	鈴木 更紗
12月 16日 (木)	青銅の鐸～青銅の鐘	山本 雅和

第25回 (2020年度)

10月 15日 (木)	和のガラスーびいどろ・ぎやまんの魅力ー	中山 創太
11月 19日 (木)	「日本」へのまなざしー世界と繋がる着色写真ー	水嶋 彩乃
12月 17日 (木)	兵庫勤番文書の世界	高久 智広

第24回 (2019年度)

11月 21日 (木)	狩野内膳筆「南蛮屏風」の魅力	石沢 俊
12月 19日 (木)	黄泉の国をのぞいてみた～古墳時代社会の大変革～	阿部 功
1月 16日 (木)	神戸の近代洋風建築～地域での総合的な保存と活用～	山本 雅和
2月 20日 (木)	地図の近代	永山 未沙希
3月 19日 (木)	兵庫勤番文書の世界 ※新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休館により中止	高久 智広

第23回 (2018年度)

10月 13日 (土)	リニューアル概要 中世人の願いを託すタイムカプセル (経塚の遺宝)	高久 智広 谷 正俊
11月 24日 (土)	神戸の中世史はどのように伝わったのか	三好 俊
12月 8日 (土)	立ち現れる聖性 神戸に坐すカミ、ホトケ	川野 憲一
1月 12日 (土)	聖フランシスコ・ザビエルの旅路ー日本での昂揚・挫折・希望	塚原 晃
2月 9日 (土)	やきもののかたちー神戸市博の陶磁器コレクション	中山 創太
3月 9日 (土)	コレクションを創るー南波松太郎と秋岡武次郎の軌跡ー	小野田 一幸

第22回 (2017年度)

9月 21日 (木)	「開国への潮流」展をたのしむために	高久 智広
10月 19日 (木)	灘流(丹波杜氏)の秘伝を覗く	関野 豊
11月 16日 (木)	ボストン美術館の至宝ー偉大なるコレクターとコレクションー	石沢 俊
12月 21日 (木)	“鯉川筋画廊”と美術家たちー戦前の神戸画壇を振り返るー	辻 智美
1月 18日 (木)	「楠木正成」の受容史	水嶋 彩乃
2月 1日 (木)	江戸時代の日本図	永山 未沙希

第21回 (2016年度)

10月 20日 (木)	ジャポニスムと松方コレクション	塚原 晃
11月 17日 (木)	神戸の文化財建造物あれこれ	山本 雅和
12月 15日 (木)	神戸の中世城郭探訪	東 喜代秀
1月 19日 (木)	美と智と神秘と 古代ギリシャ7000年の旅	川野 憲一
2月 16日 (木)	豊臣秀吉と有馬	三好 俊
3月 16日 (木)	近代和ガラスの魅力	中山 創太

第20回 (2015年度)

10月 15日 (木)	特別展「大英博物館展ー100のモノが語る世界の歴史」にみるmade in JAPAN	菅本 宏明
11月 19日 (木)	神戸の写真師・市田左右太と明治初期の古写真	田井 玲子
12月 17日 (木)	神戸にない神戸の名宝	問屋 真一
1月 21日 (木)	開港前夜ー黒船の来航と大坂町奉行ー	高久 智広
2月 18日 (木)	開山1300年の妻み 太山寺の秘宝を観る！	川野 憲一
3月 17日 (木)	我が名は鶴亭ー若冲、大雅も憧れた花鳥画！？	石沢 俊

第19回 (2014年度)

10月 16日 (木)	有馬と閻魔王宮を結ぶ経箱ーこめられた謎	問屋 真一
11月 20日 (木)	ファン・ダイクを名乗った画家ー北山寒巖	勝盛 典子
12月 18日 (木)	ギヤマンの伝来をめぐって	中山 創太
1月 22日 (木)	灘酒の隆盛と「重ね蔵」の関係	関野 豊
2月 19日 (木)	近世刊行大坂図の潮流	小野田 一幸
3月 19日 (木)	桜ヶ丘銅鐸・銅戈発見50年	橋詰 清孝

第18回 (2013年度)

10月 17日 (木)	プーシキン美術館とは何か	塚原 晃
11月 21日 (木)	近代遺跡の保存と活用ー戦争で廃止された二つの施設ー	東 喜代秀
12月 19日 (木)	考古学のはなし	菅本 宏明
1月 16日 (木)	ターナーとロマン主義絵画	廣田 生馬
2月 20日 (木)	古地図を出版した本屋さん	国木田 明子
3月 20日 (木)	西洋の美 日本の美・その特質を語る	岡 泰正

第17回 (2012年度)

10月 18日 (木)	開戦70年 絵画をめぐるともうひとつの日蘭交流 ～オランダでの日本の戦争画紹介と調査研究の最先端～	廣田 生馬
11月 15日 (木)	オランダ絵画の見方	岡 泰正
12月 20日 (木)	オランダ地図学とフェルメール	三好 唯義
1月 17日 (木)	銅鐸絵画の源流をたどる	橋詰 清孝
2月 21日 (木)	見えざる世界のかたちー『氣』で読み解く古代中国の造形ー	川野 憲一
3月 21日 (木)	瓦の来た道ー中国の古代宮城から法隆寺若草伽藍までー	石島 三和

第16回 (2011年度)

10月 20日 (木)	びいどろ・ぎやまんへの招待	岡 泰正
11月 17日 (木)	幕末を駆け抜けた紀州藩士	小野田 一幸
12月 15日 (木)	日本絵画のひみつ―秋田蘭画と石川大浪の画業から―	勝盛 典子
1月 19日 (木)	徹底解剖！旗本退屈男たちの日常	高久 智広
2月 16日 (木)	絵画とことば―黄檗宗の美術―	石沢 俊
3月 15日 (木)	平清盛と神戸	問屋 真一

第15回 (2010年度)

10月 21日 (木)	川西祐三郎の世界―川西英から受け継いだ神戸の創作版画―	金井 紀子
11月 18日 (木)	昭和初期の神戸―大久保晴之氏撮影フィルムより―	田井 玲子
12月 16日 (木)	アヘン戦争と五雲亭貞秀	塚原 晃
1月 20日 (木)	近世地図史と貞秀＝玉蘭齋	三好 唯義
2月 17日 (木)	近世の輸出漆器業者―笹屋と青貝屋―	勝盛 典子
3月 17日 (木)	西洋絵画の見方入門	岡 泰正

第14回 (2009年)

10月 15日 (木)	日本とアメリカ、神戸とシアトル―その交流のあゆみ―	塚原 晃
11月 19日 (木)	大坂町奉行の支配を支えた「非人」の組織―博物館が所蔵する天王寺長吏文書から―	高久 智広
12月 17日 (木)	地図のような引札、引札のような地図	国木田 明子
1月 21日 (木)	『南蛮人交易図屏風』について―消された『探幽筆』―	石沢 俊
2月 18日 (木)	古代船の絵画と造形の資料	橋詰 清孝
3月 11日 (木)	貞秀と初三郎―絵のような地図	三好 唯義